

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 30 年 1 月 15 日（月）

午前 10 時 00 分 開会

午前 10 時 39 分 閉会

○ 場 所 第 3 常任委員会室

○ 出席委員（8名）

委員長	桃 原 朗
委員	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	桃 原 功

副委員長	伊 波 一 男
委員	石 川 慶
委員	比 嘉 憲 康
委員	我 如 古 盛 英

議長	大 城 政 利
----	---------

○ 欠席委員（2名）

委員	伊 佐 哲 雄
----	---------

委員	濱 元 朝 晴
----	---------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（1名）

議事係長	中 村 誠
------	-------

○ 協議案件

うるま市及び読谷村での米軍ヘリの相次ぐ不時着について

# 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 30 年 1 月 15 日（月）

○**桃原朗 委員長** ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 10 時 00 分）

---

## 【協議事項】

うるま市及び読谷村での米軍ヘリの相次ぐ不時着について

○**桃原朗 委員長** 本件の取り扱いについて、各委員の意見を伺いたい。

○**宮城克 委員** 会派での協議の結果、抗議すべきとの意見である。

○**比嘉憲康 委員** 前は参加していないが、抗議する方向ということで伺っており、それに合わせるということになっている。

○**我如古盛英 委員** ぜひ抗議すべきと考える。

○**伊波一男 委員** ぜひ抗議すべき。

○**桃原朗 委員長** 本件については抗議決議をするということで進めてまいりたい。

次に、抗議決議及び意見書の文案について、正副委員長案を作成しており配付してまいりたい。

（文案を配付する）

○**桃原功 委員** 普天間基地所属機は全て欠陥機として指摘すべきである。普天間第二小に窓を落下させた日も飛行している。記の部分はこれまでも幾度となく指摘しているが守られていない。もっと踏み込んで強い表現にすべきではないか。

○**桃原朗 委員長** 具体的にどのような表現がよいのか。

○**桃原功 委員** 具体的には考えてはいないが、事故後、既に飛行も再開されていることからしても、原因の究明もせずに飛行していることを指摘するような表現はどうか。

○**我如古盛英 委員** 記の 4 番にある「5 年以内の運用停止」は来年 2 月までのことである。カッコ書きでも「2019 年 2 月まで」と表記したほうがよいのではないか。

○**桃原功 委員** 5 年以内運用停止の時期を明記することはいい手法だと思う。また、本日、議員棚へ配付されていた防衛局の「はいさい」という機関紙には、普天間第二小での事故のところに、「普天間第二小学校を含む全ての学校の上空の飛行を最大限避けるよう指示する」と書かれている。国は米軍にしか寄り添っておらず、県民の痛みに寄り添っていない。このような国の姿勢も批判しながら、県民に寄り添うようにといった表現も入れ込んでほしい。

- 山城康弘 委員 桃原委員の意見はよく理解できる。ただ、強く指摘するにしても具体的に文言が見えないと意見も出せない。いったん文案を作成してみてもどうか。
- 伊波一男 委員 今日配付された文案について、会派での確認もまだである。また、今意見があるように文言が弱いのではないかといいことも、会派へ持ち帰った際にどうなるかわからない。この場で文言調整をするとすると1日あっても足りないことから、会派へ持ち帰りとしたい。
- 大城政利 議長 文案中の記の部分はこれまでも要請してきた内容である。報道等から見ても、政府は当事者意識に欠けているのではないかと思う。記の事故原因をという部分の冒頭に「日米両政府の責任のもと」と表現を入れてはどうか。これまでは米軍に対し言ってきた部分があるが、日米安保条約に基づく提供施設という観点では、国が国策として行っているものであり、政府にも責任があるということを手張すべきと考える。
- 桃原朗 委員長 では、これまで協議した内容をいったん会派へ持ち帰り、意見をまとめ、次の委員会で引き続き協議するという手てよいか。
- 桃原功 委員 そうすると抗議決議の日程がさらに遅れることが懸念される。委員会が開かれない今週中で文案をしっかりと調整の上、まとめられないか。
- 大城政利 議長 臨時会をいつ開くかを決め、逆算して委員会を開催してはどうか。
- 山城康弘 委員 抗議行動はタイムリーに行うべきと考える。時機を逃したら効果も半減する。議長が言うとおりに臨時会をいつ開くかを早目に協議すべきである。
- 桃原朗 委員長 件名と本文についてはこのとおりとし、記の部分を修正していくということてよいか。
- 桃原功 委員 文言調整となると時間がかかることから、各委員の意見を出して、最終的には正副委員長と事務局に任せてはどうか。また、委員会が開かれない間もメール等で文言確認をするなど調整を進めてはどうか。
- 桃原朗 委員長 前回の委員会での意見も踏まえ、臨時会は最短での22日(月)とて調整を進めてきたところであるが、それについて意見を伺いたい。
- 山城康弘 委員 文案を早目に作成し配付してもらい、22日(月)に委員会で最終決定を行い、23日(火)に臨時会を開催してはどうか。
- 桃原朗 委員長 では22日(月)に委員会を開催し文案の最終決定を行い、23日(火)に臨時会を開催する方向で招集請求していくことてよいか。
- (異議なし)
- 議会事務局 臨時会招集請求に当たっては議案件名が必要となってくることから、件名については今日で決定をいただきたい。
- 桃原功 委員 件名は「米軍機による相次ぐ事故やトラブル等に対する抗議決議」

とあるが、「相次ぐ」ではなく「止まない」という表現にしていきたい。

○宮城克 委員 市長の抗議文は「度重なる」という表現になっている。

○桃原朗 委員長 「相次ぐ」を「たび重なる」といった表現に改めることでよいか。

(異議なし)

#### 【協議結果】

抗議決議及び意見書の文案については持ち帰り会派調整の上、次回1月15日(月)の委員会で引き続き協議することとし、23日(火)を目途に臨時会招集請求をしていくことで決定する。

---

○桃原朗 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻(午前10時39分)